

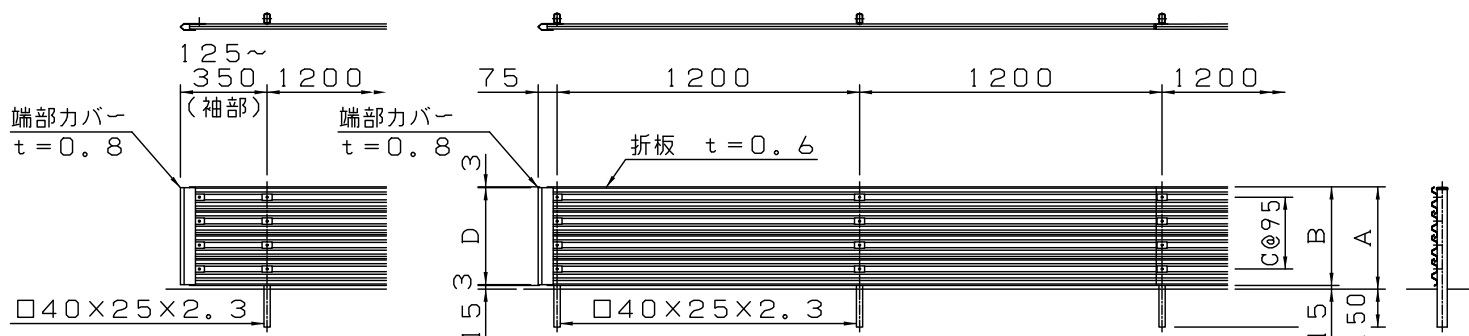
# 目かくしフェンス SLV 施工要領書

## (施工前に必ずお読みください)

### 組立図

#### SLV-400・600

袖付の場合

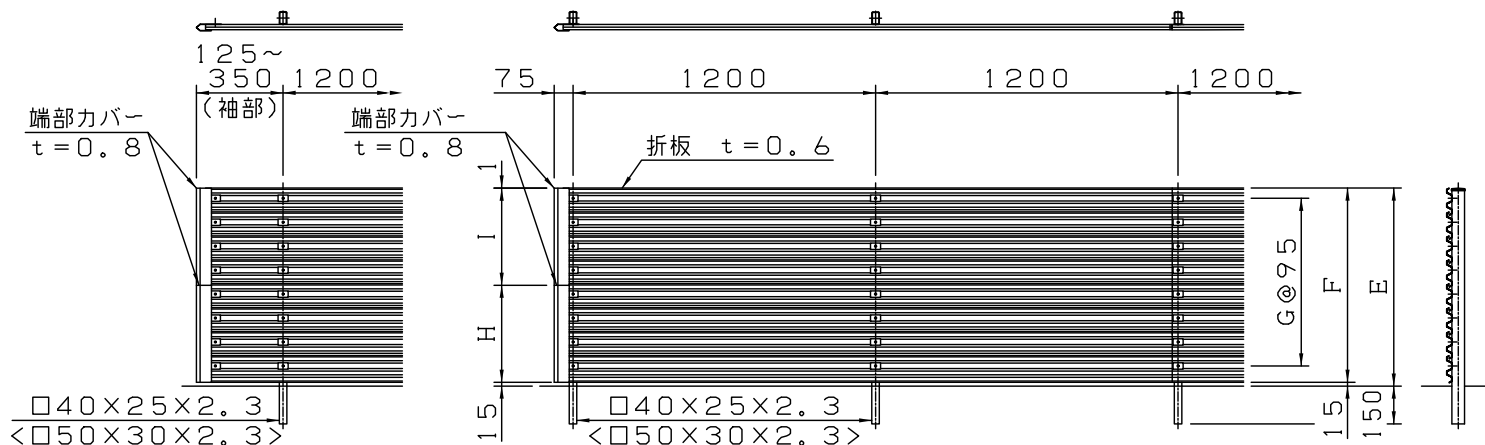


呼称	柵高さ(A)	折板外々寸法(B)	折板間隔数(C)	端部カバー高さ(D)	折板枚数
SLV-400	406	391	3	385	4
SLV-600	596	581	5	575	6

#### SLV-800・1000・1200

< >内はSLV-1200の場合を示す。

袖付の場合



呼称	柵高さ(E)	折板外々寸法(F)	折板間隔数(G)	端部カバー高さ(H)	端部カバー高さ(I)	折板枚数
SLV-800	786	771	7	385	385	8
SLV-1000	976	961	9	575	385	10
SLV-1200	1166	1151	11	575	575	12

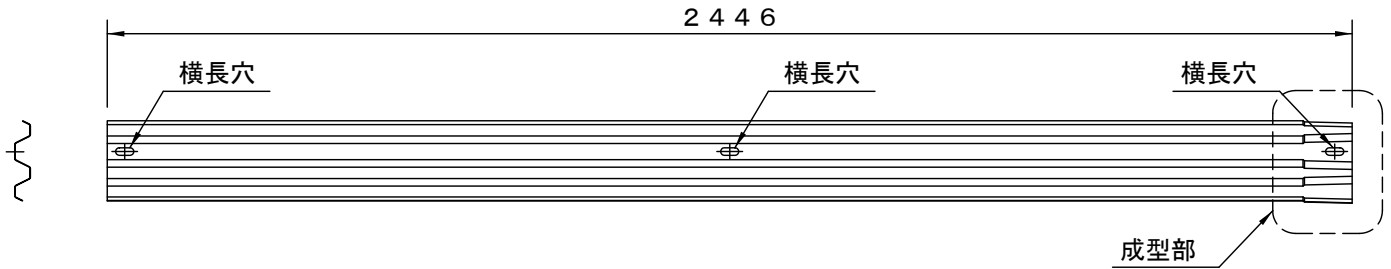
### ! 注意

本製品をブロック塀に施工する場合、ブロックの連結部には柱を建てないでください。

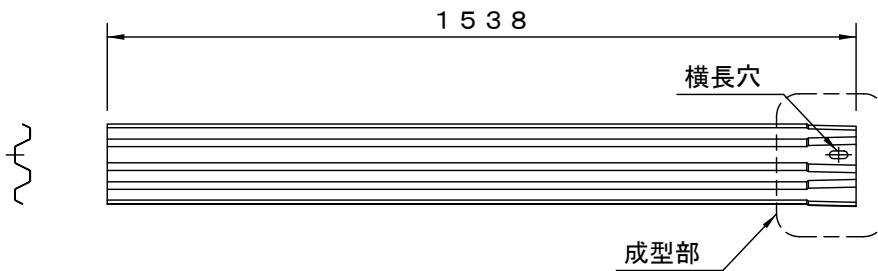
# 1. 折板の種類

- ・折板 端尺 Rの端部は成型していません。
- ・折板 端尺 L、Rは片側のみに横長穴があいています。

## 折板 中間



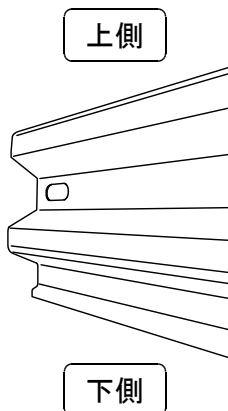
## 折板 端尺 L



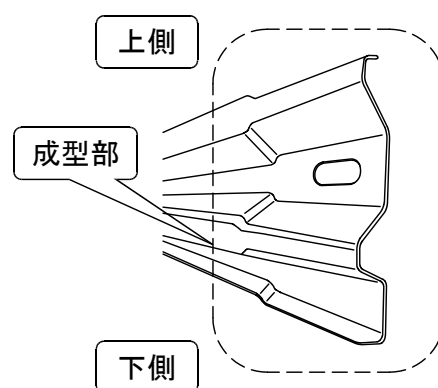
## 折板 端尺 R



## 折板左側



## 折板右側（成型部）

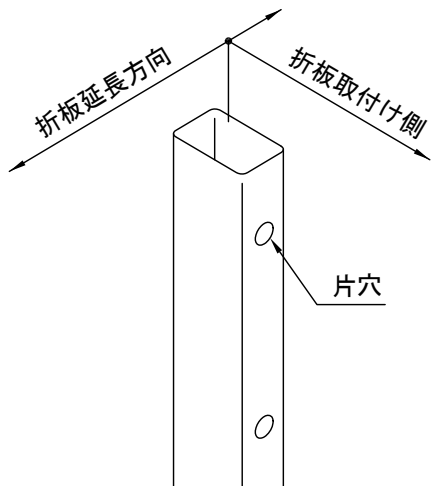




### 3. 主柱の建込み

#### 主柱建込み方向

- ・主柱は、片穴の向きに注意し、以下の2点を確認の上で建込んでください。
- ① 片穴は折板延長方向に対して直角であること。
- ② 片穴は折板取付け側に向いていること。

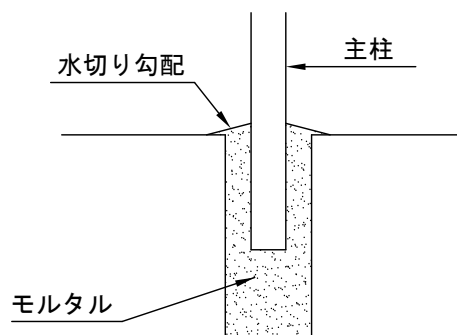


#### モルタル詰め

- ・左右の振れ、水平、通りを正してモルタルを充てんしてください。

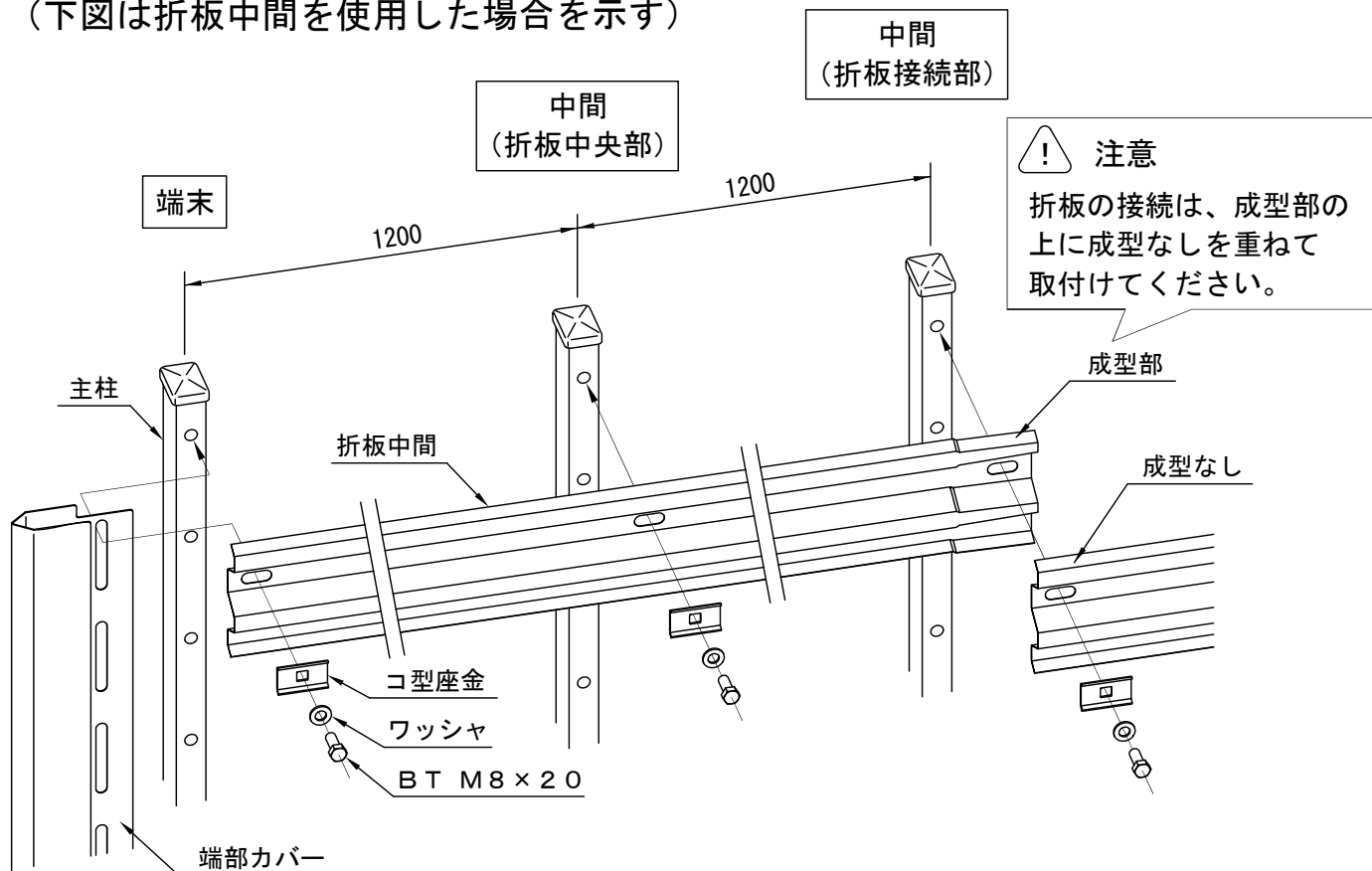
⚠ 注意

- ・必ずモルタルを充てんしてください。砂詰め、空ねり等では主柱の強度が確保できません。
- ・主柱地際部は水切り勾配を必ず設けてください。



### 4. 中間、端末部 折板の取付け

(下図は折板中間を使用した場合を示す)



- ・折板は、上図通り、上段 左側から順に取付ける。
- ・二段目以降の折板取付けも、上図に準ずる。

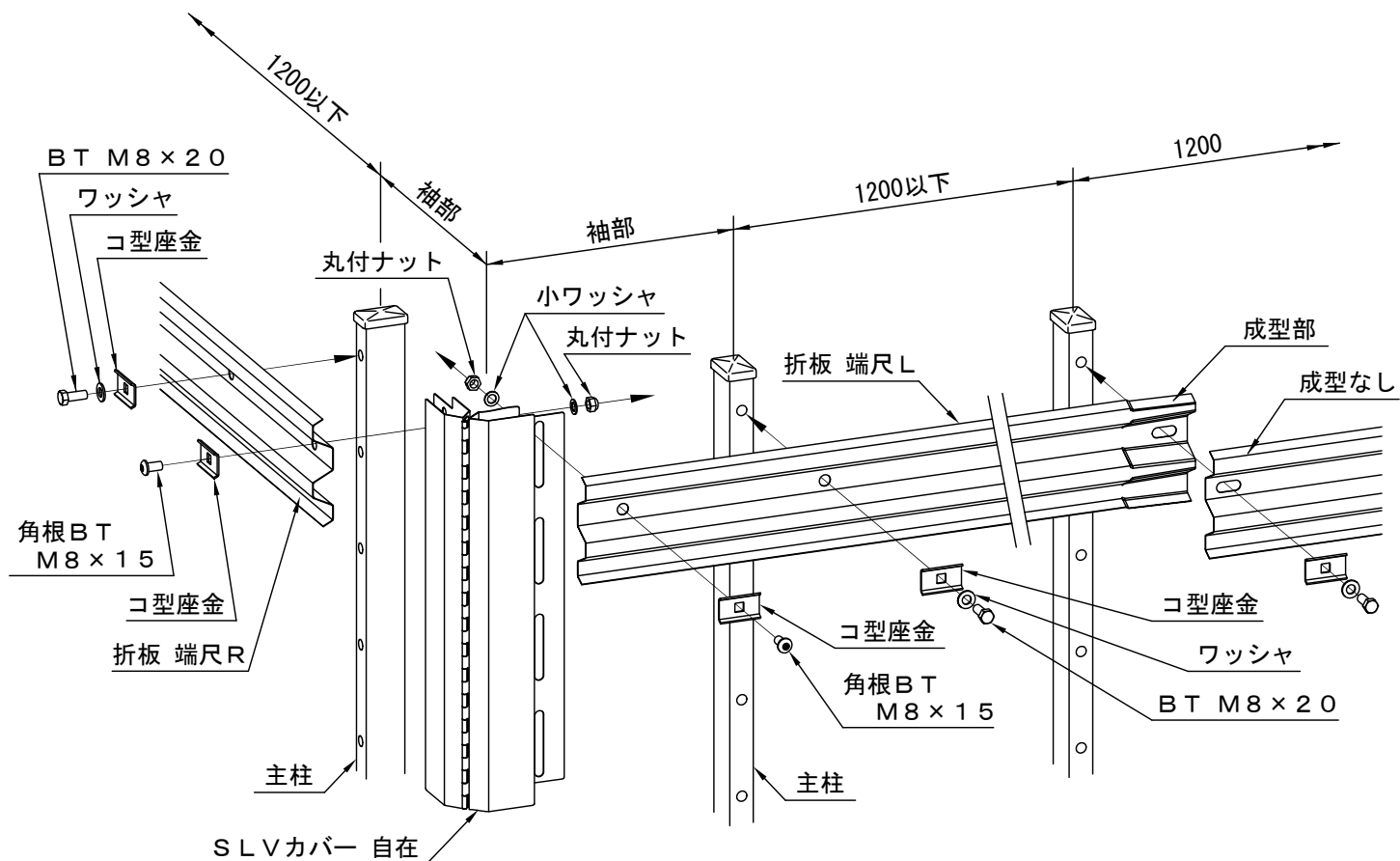
## 5. コーナー部 折板の取付け

(下図は折板端尺 L、Rを使用した場合を示す)

※ 袖付折板は、端尺穴あけ加工後に取付け。

加工要領については 7 / 13、10 / 13 ~ 12 / 13 を参照のこと。

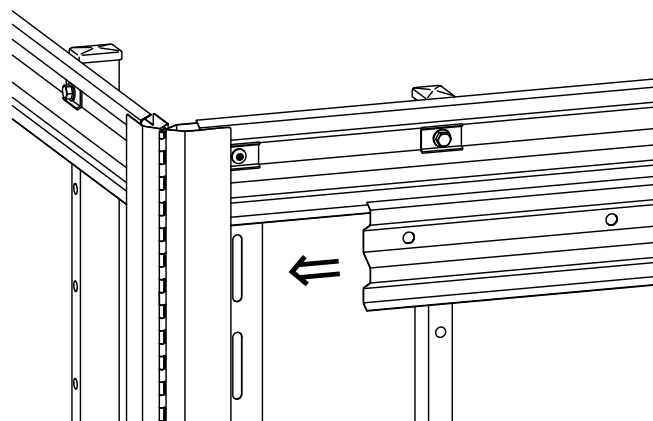
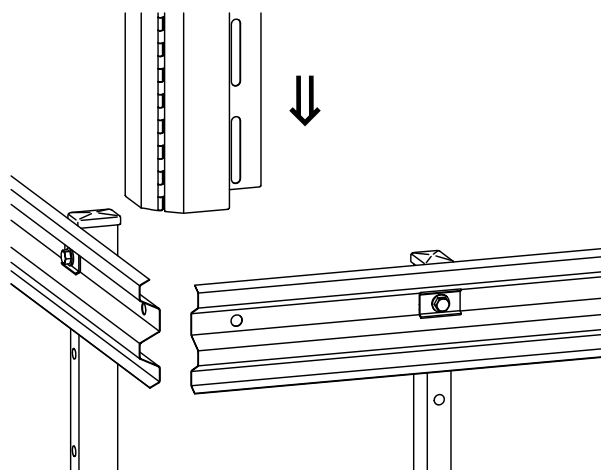
※ 端末袖の取付けについても下図に準ずる。



### SLV カバー 自在 取付けについて

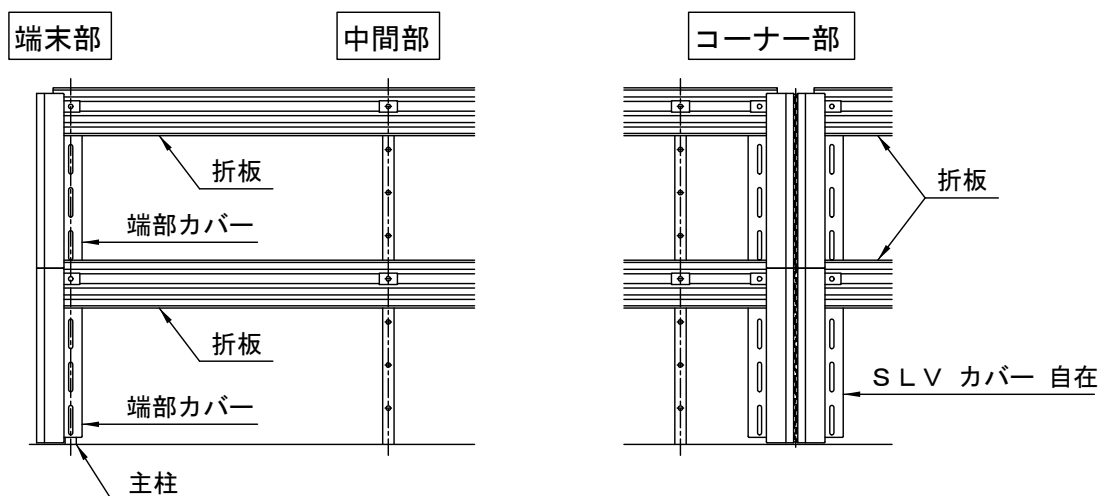
① 両サイドの上段折板を取付け後、SLVカバー自在を上から差し込みセットする。

② 二段目以降の折板は横から差し込み取付ける。

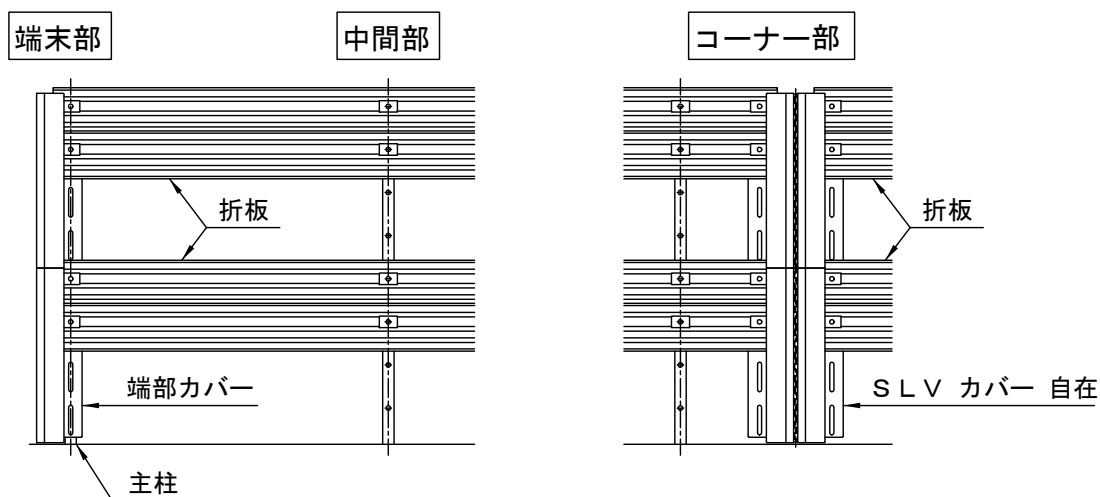


## 6. 組立手順

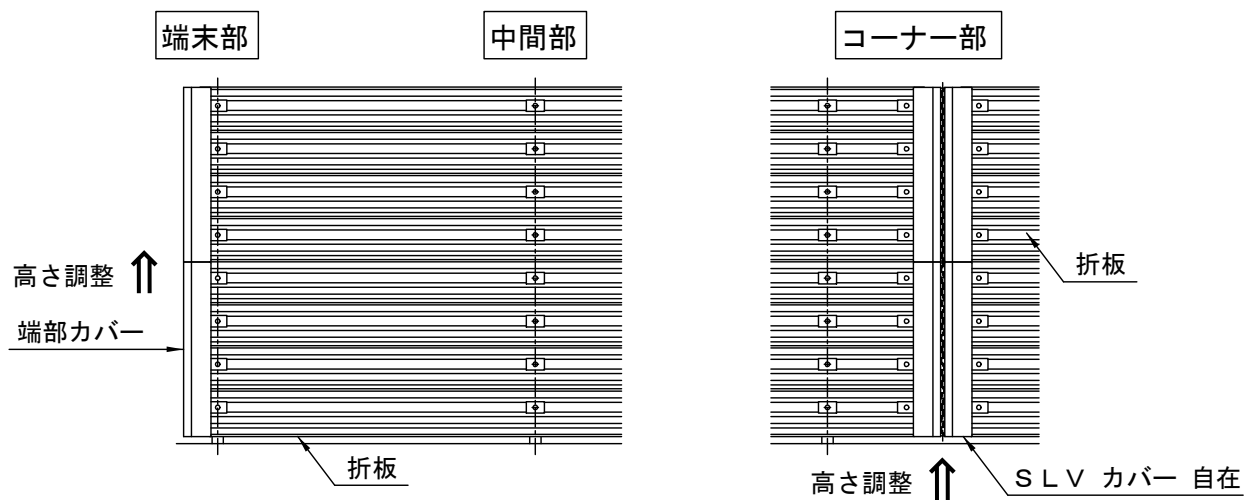
- ①. 端部カバーと端部カバー上端の折板を取付け、コーナー部はSLVカバー自在を取付ける。（取付け要領については 4/13、5/13 を参照のこと）



- ②. 折板を上から順に取付けていく。



- ③. 折板を全て取付け後、端部カバーと、SLVカバー自在の高さを調整してボルト・ナットを本締めする。



- ④. 全体のボルト・ナットの締め付けを点検（ボルト・ナットの締め忘れや緩みなど）し、塗装の剥離部分があれば補修塗りをを行う。

## 7. 折板 端尺加工手順

### <注意>

- ・折板加工および施工時、製品を直接地面に置かないで敷物を施すこと。

### 端尺加工手順

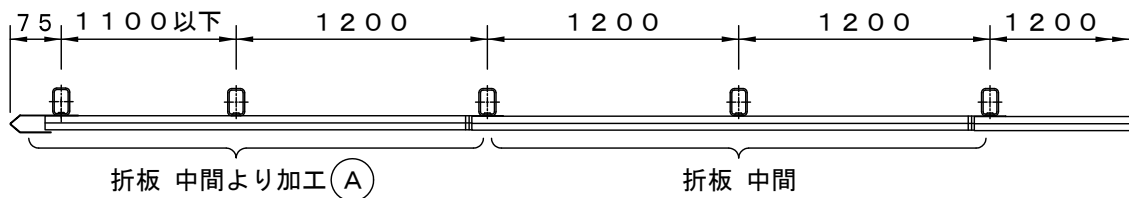
1. スパン寸法を計測する。
2. 切断箇所にケガキを行い、チップソーカッターにて切断する。  
(切断、穴あけ位置は「下図および 8/13～12/13 を参照。)
3. 穴あけ位置にマーキングをして、 $\phi 11 \sim \phi 12$ のドリルで穴あけする。
4. 切断面および穴あけ部はヤスリ等でバリ取りを行い、折板の 角は危険がないよう面取りを施す。
5. 加工時の切粉を除去する。(不十分だと もらい錆の原因となります。)
6. 切断、穴あけ箇所は 補修塗りを施す。

### 重ね切り及び穴あけの注意点

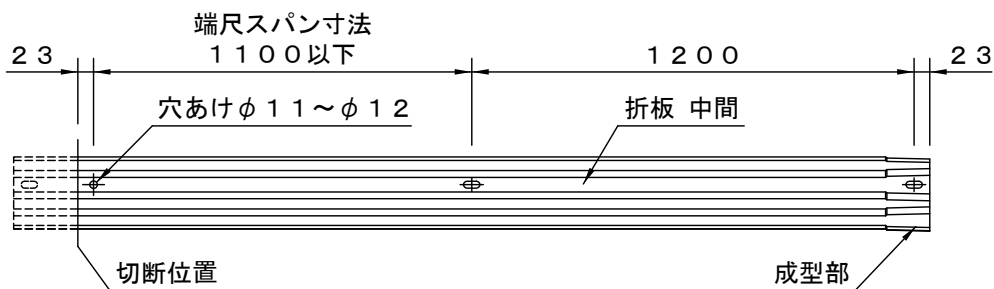
- ・重ね枚数は5枚程度。
- ・折板は滑りやすいため、端部に当木等で固定すること。
- ・穴あけは $\phi 5$ 程度のドリルで下穴をあけることで、ずれにくくなる。

## 7-1. 端末スパン 端尺時の使用折板および加工寸法

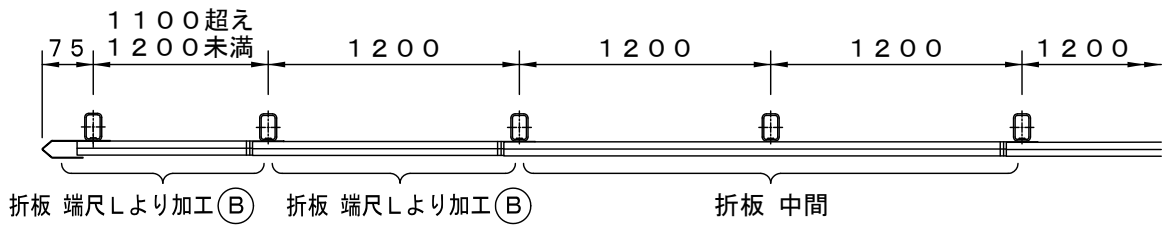
### 左端末スパン1. 1m以下の場合 (2スパン取付け)



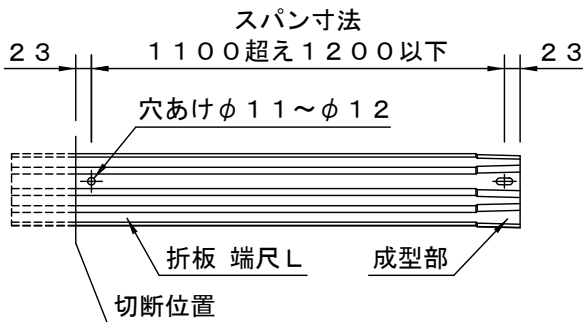
### (A) 部 折板切断、穴あけ位置



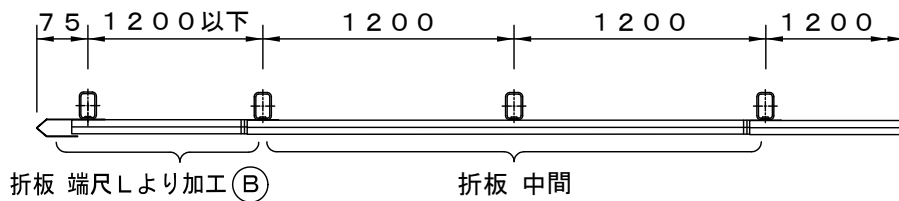
左端末スパン1. 1 mを超え1. 2 m未満の場合 (2スパン取付け)



(B) 部 折板切断、穴あけ位置

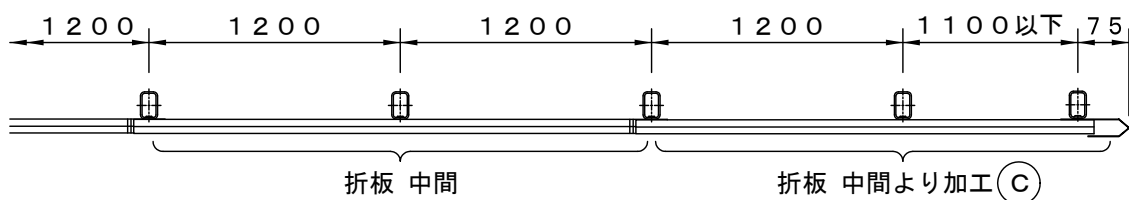


左端末 1スパン取付けの場合

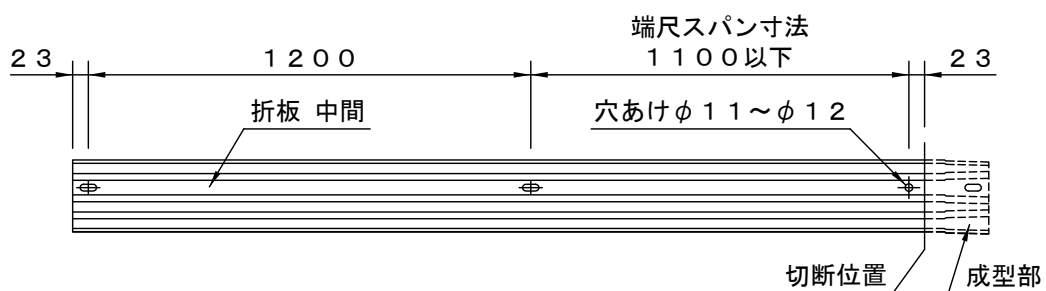


・折板の加工は、上図「(B) 部 折板切断、穴あけ位置」に準ずる。

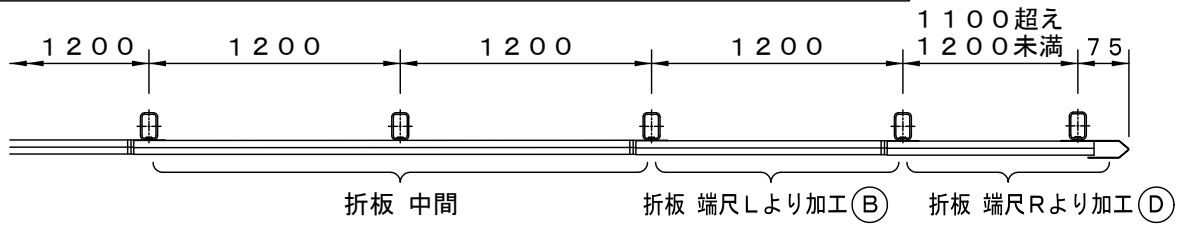
右端末スパン1. 1 m以下の場合 (2スパン取付け)



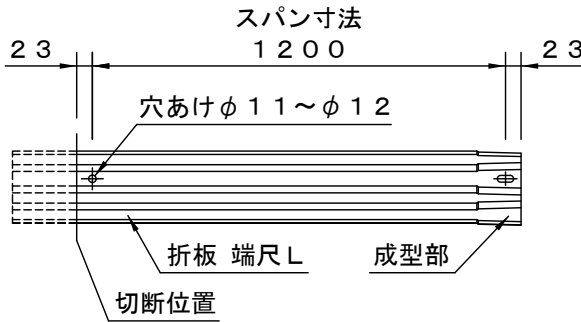
(C) 部 折板切断、穴あけ位置



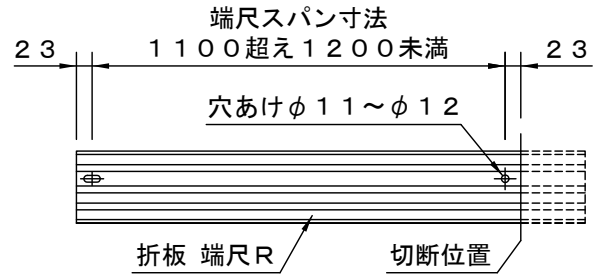
右端末スパン1. 1 mを超え1. 2 m未満の場合 (2スパン取付け)



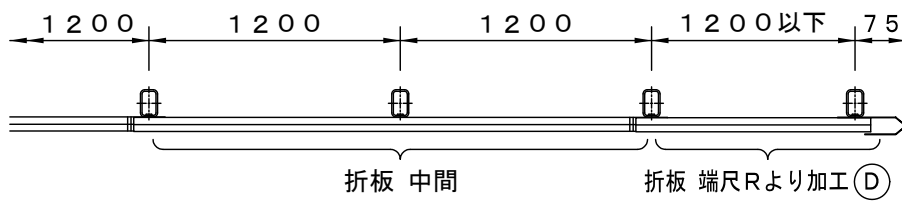
(B) 部 折板切断、穴あけ位置



(D) 部 折板切断、穴あけ位置



右端末 1スパン取付けの場合



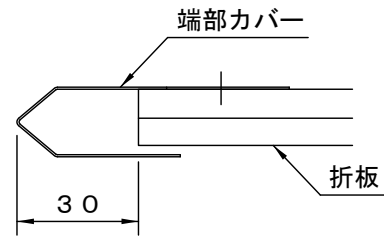
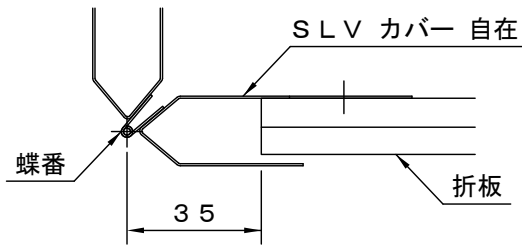
・折板の加工は、上図「(D) 部 折板切断、穴あけ位置」に準ずる。

## 7-2. 袖横スパン（端末・コーナ一部）の使用折板および加工寸法

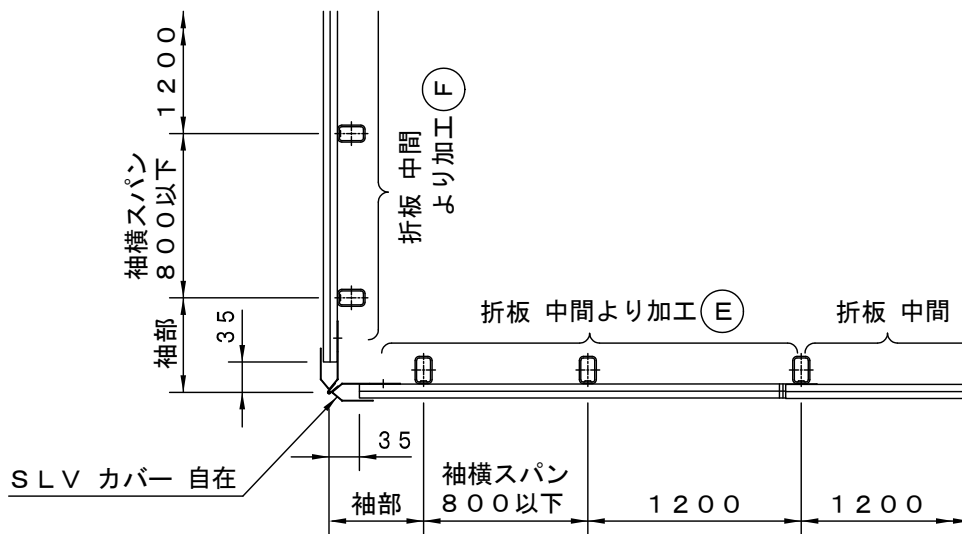
⚠ 注意：袖部 折板切断位置

- ・コーナー袖部  
SLVカバー自在の蝶番芯から  
35mm内側を切断

- ・端末袖部  
端部カバーの端から30mm内側を切断



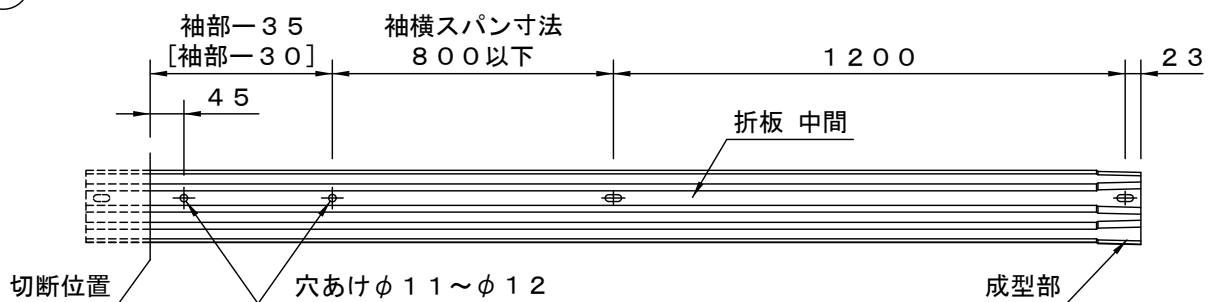
袖横スパン0.8m以下の場合（袖+2スパン取付け）



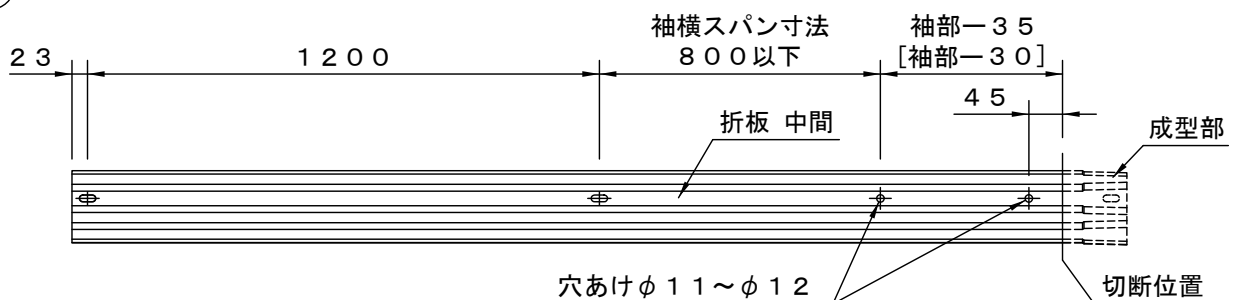
※ 本図はコーナー袖の場合を表し、端末袖部も本図に準ずる。

※ [ ] 内寸法は端末袖の場合を示す。

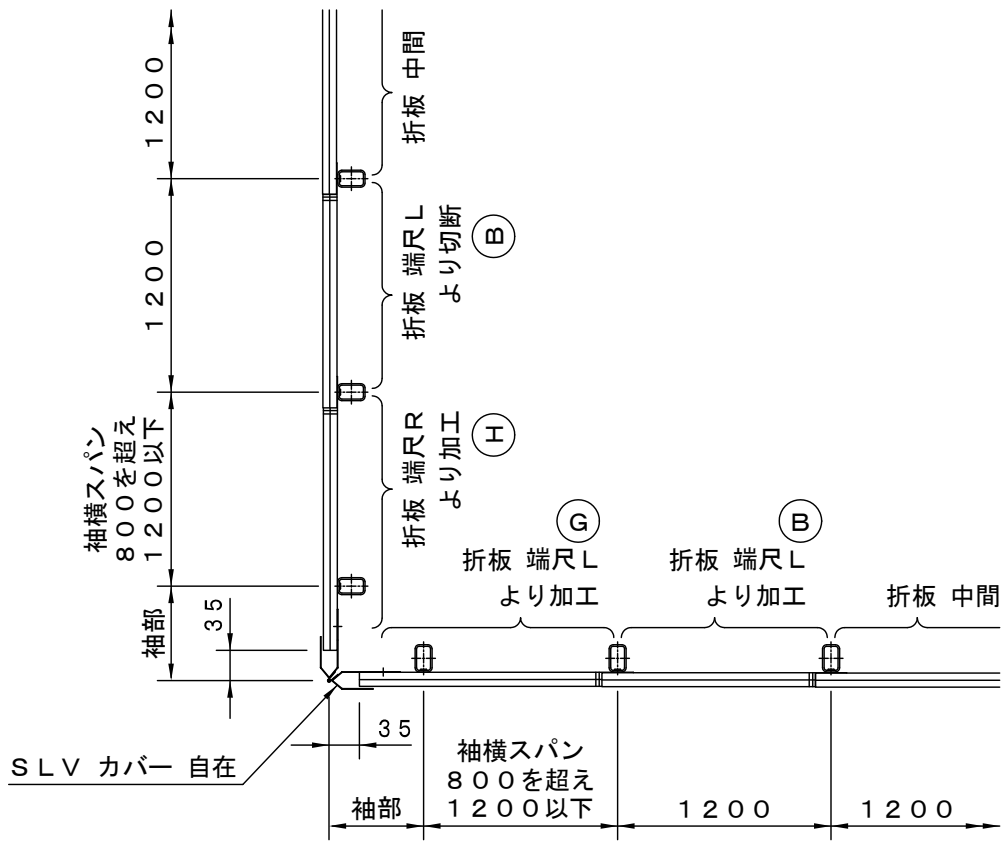
### Ⓔ部 折板切断、穴あけ位置



### Ⓕ部 折板切断、穴あけ位置

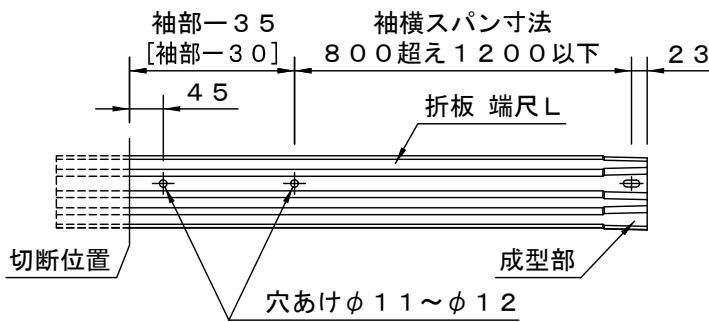


袖横スパン0. 8mを超え1. 2m以下の場合（袖+2スパン取付け）

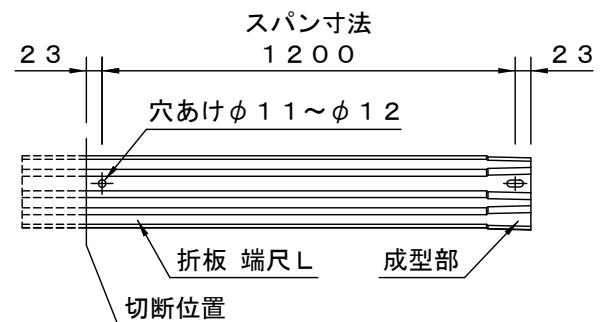


※ 本図はコーナー袖の場合を表し、端末袖部も本図に準ずる。  
 ※ [ ] 内寸法は端末袖の場合を示す。

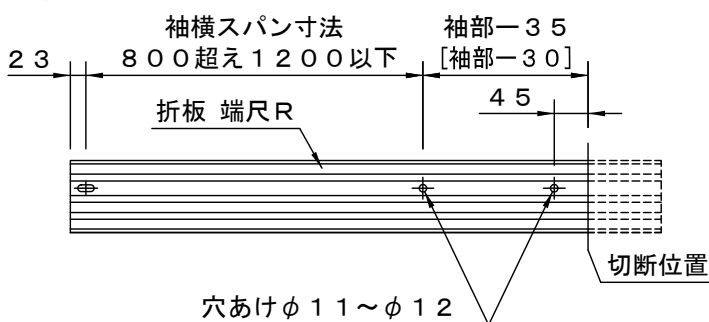
①部 折板切断、穴あけ位置



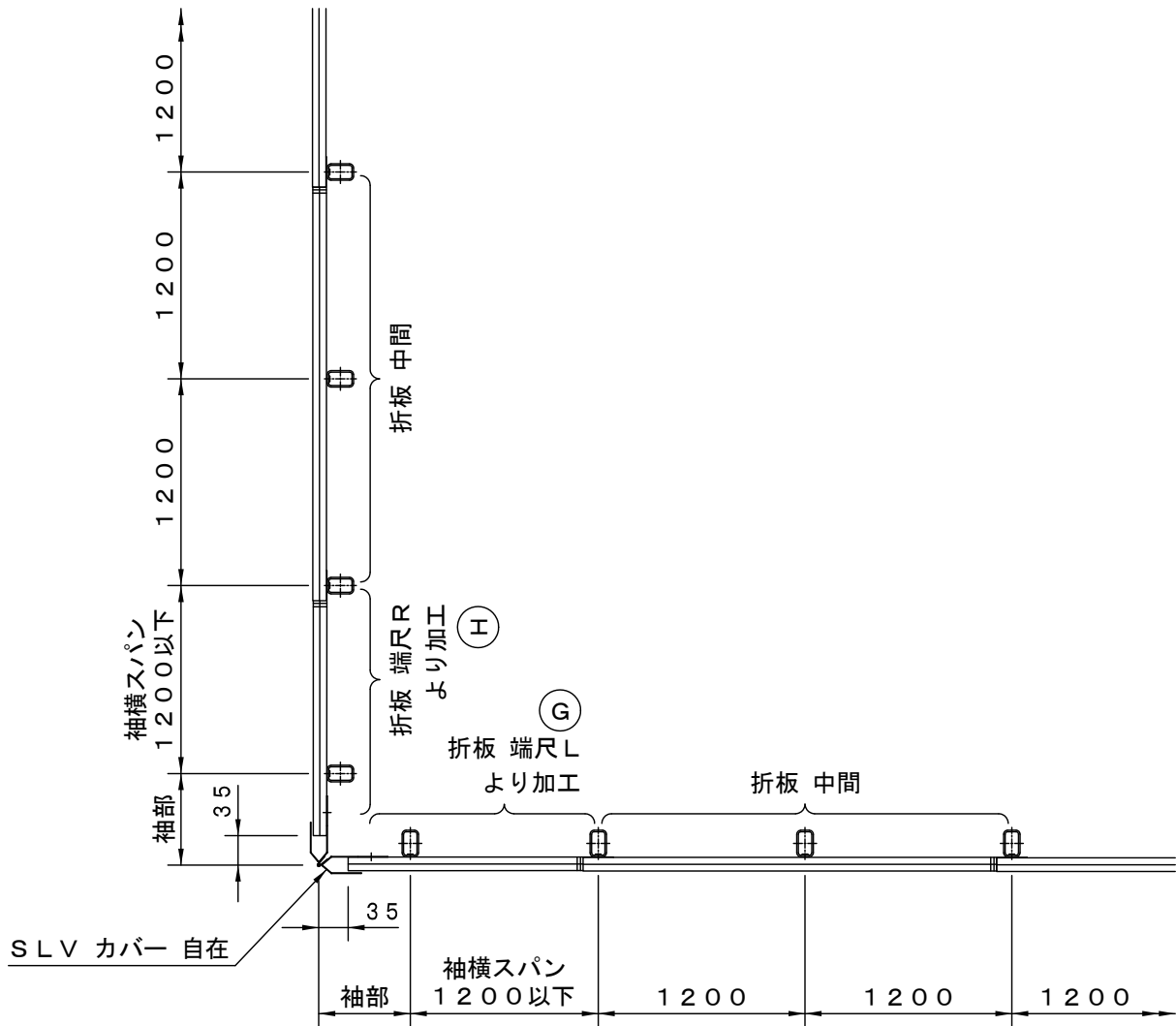
②部 折板切断、穴あけ位置



③部 折板切断、穴あけ位置

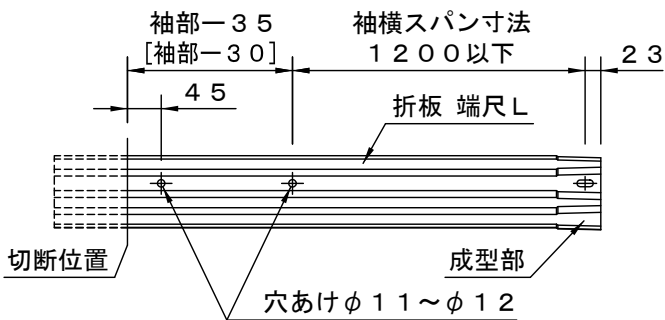


袖横 1 スパン取付けの場合

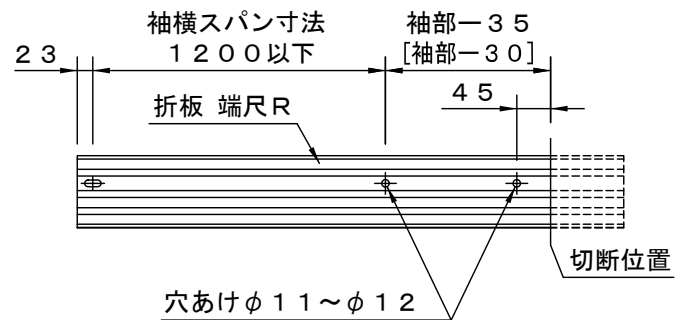


※ 本図はコーナー袖の場合を表し、端末袖部も本図に準ずる。  
 ※ [ ] 内寸法は端末袖の場合を示す。

Ⓒ部 折板切断、穴あけ位置

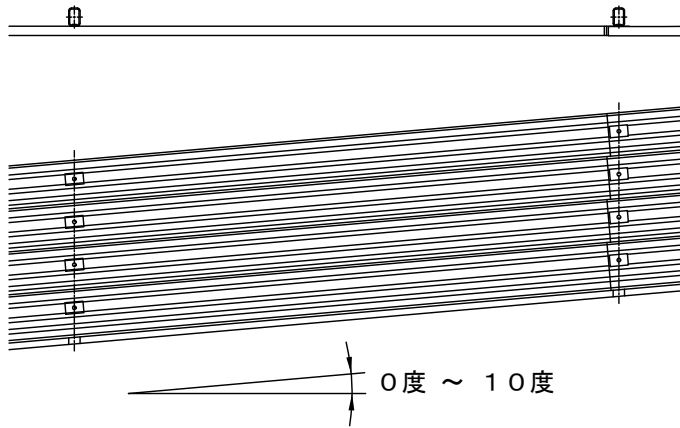


Ⓓ部 折板切断、穴あけ位置

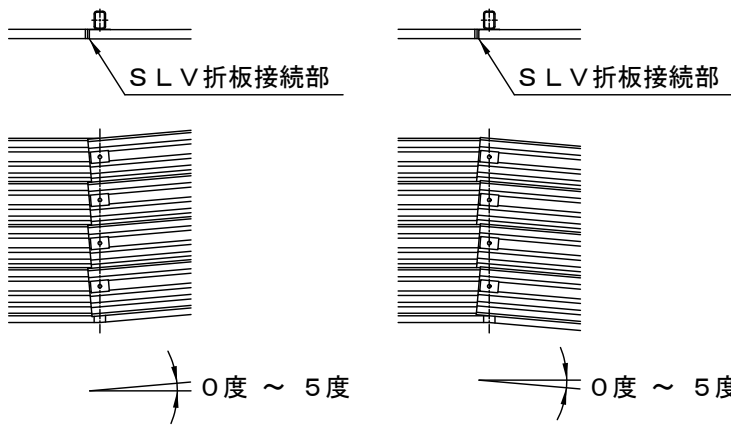


## 8. 中間部のコーナー、勾配対応角度について

- ・ 一律勾配対応角度 . . . 0度 ~ 10度



- ・ 勾配変化点角度差 . . . 0度 ~ 5度



※勾配変化点角度差  
6度以上の場合

コーナー部の取付け要領  
(5/13 参照) に準ずる。

- ・ コーナー角度 . . . 180度 ~ 175度

